

伝統芸能の継承でつながる地域の絆 ～継続と絆 念ずれば花開く～

ふるさと創生須波会

ふるさとを思う心が
深まるね



▲すなみ海浜公園の海開きで獅子舞を披露するようす



▲ふるさとの魅力を継承し発信していきます

力をあわせて 市民協働の まちづくり

22

地

元に伝わる伝統芸能を復活させ、世代間の交流を図りながら、地域がおこしに取り組むふるさと創生須波会。

平成11年に、地元の漁港で獅子頭が見られたことをきっかけに結成し、約四半世紀ぶりに、地元の獅子舞を復活させました。以来、獅子舞に続き、神楽や笠踊り、太鼓踊りなど途絶えつつあった地域の伝統芸能を復活させ、大人と子どもが一緒になって、その継承に励んでいます。

会員は、小学生から80歳代までの約40人。須波皇后八幡神社の秋祭りでの奉納をはじめ、近隣の神社の祭りや地元の花開き、老人ホームなどで舞いや踊りを披露しています。また、市内の小・中学校へ指導に出向き、後世の育成にも力を注いでいます。

活動を続けて9年目になる高校3年生の高橋佳那さんは、「自分の住んでいる地域の歴史や伝統を知ることができ、地域の交流ができるのでうれしい。これからここにいる限り参加していきたい」と笑顔を輝かせます。

「これからも、ふるさとの伝統文化の掘り起こしと継承に励み、高齢者を孤独にしない交流の場所作りや、子どもたちのふるさとを愛する心の育成につなげていきたい」と意気込みを語る会長の安部孝司さん。

まちづくり推進課では、まちづくり支援事業の補助金などを通して、ふるさと創生須波会を含む、市民活動団体を支援し、市民協働でまちづくりを進めていきます。ふるさと創生須波会についての問い合わせは、まちづくり推進課(☎0848 676184 FAX 0848 676199)へ。

市ホームページに 広告を掲載しませんか

掲載場所 トップページ

掲載期間 4月1日～来年3月31日

掲載料 1枠当たり月額1万円(消費税込み)

募集枠数 8枠

※掲載基準と審査があります。

※詳細は市ホームページに掲載しています。

申し込み 1月11日(火)～2月18日(金)(必着)(郵送可)

に申込書(秘書広報課、市ホームページに用意)に必要事項を記入し、商業登記簿の写しを添えて秘書広報課

(〒723-8601 港町三丁目5番1号 ☎0848 676007)へ



税などの納期(普通徴収)

◎市県民税(第4期)

◎国民健康保険税(第7期)

◎介護保険料(第7期)

◎後期高齢者医療保険料(第7期)

納期限 1月31日(月)

今月の夜間収納窓口(19時まで)

6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)

あ・と・が・き

あけましておめでとうございます。新しい年をいかがお過ごしでしょうか。今月号では、市民の皆さんに「夢」や「抱負」を紹介してもらいました。多くの方々と一緒に広報誌を作成できたことにとても感激しています。なかでも、表紙の撮影で如水館高校へ行ったときのこと▼「心楽しく」を motto に活動している書道部。現在、部員は7人。普段は、コンクールで少しでも上の賞が取れるようにと練習に励んでいます。その傍らで、年に数回、表紙のようなパフォーマンスも行なっています。ダイナミックな所作もさることながら、描く文字の完成度の高さにも驚かされました▼取材を通じて、たくさんの方々の夢と素敵な笑顔に触れることができました。協力してくださった皆さん、ありがとうございました。今後とも、市民の皆さんとともに作り上げる広報誌でありたいと思っています。今年も広報みはらをよく願います。(し)



三原市の人口	
(11月30日現在)	
世帯数	43,926世帯 (-16)
人口	102,422人 (-862)
男	49,081人 (-476)
女	53,341人 (-386)
() 内は前年同月との比較	

資源保護のため、再生紙と大豆インクを使用しています。広報みはらは、市役所本庁1階と各支所、サン・シープラザ、うきしろロビーの窓口にも備えています。点字版や録音テープも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。